



市長からの手紙

92 台風第19号

本年10月12日から13日にかけて台風第19号が関東を直撃し、東海・関東・東北に甚大な被害をもたらす結果になり、川越市でも越辺川の堤防の決壊、寺尾地区の内水による浸水被害等、極めて大きな被害をもたらしました。被害に遭われた方々に改めてお見舞いを申し上げます。また、強い風雨の中、河川の監視、情報収集等の活動をしていただいた消防団(水防団)の方々から感謝いたします。

川越市では、床上浸水193件、床下浸水262件(11月26日現在)が発生し、平塚新田、下小坂では、高齢者施設、障害者施設が越辺川堤防の決壊洪水により孤立し、13日から14日にかけて約270人がボートで救出されました。このような大きな水害に遭いながら、軽傷者3名以外に人的被害がなかったことは救いです。

台風第19号では、避難等に関していくつか

の課題が明らかになりました。

今回の台風は、直撃が予想されたため、早めの対応ができましたが、12日の夕方になってから入間川と荒川が氾濫危険水位を超え、山田、芳野、古谷、南古谷地区への避難勧告・避難指示が夜の一番雨風の強い時間となってしまいました。芳野、古谷、南古谷地区では浸水想定区域内にある避難所が多く、浸水想定区域外に避難するには距離があり、これらの地区への避難情報提供および避難所開設は課題の一つです。

今回、避難勧告・避難指示の対象は約21万人で、実際に避難した人は4,900人余りでした。対象者の多くが避難した場合、既設の避難所では収容し切れない事態になります。これも、今後の課題です。

高齢者施設・障害者施設が浸水し、多くの高齢の方や障害のある方が現在も元の施設ではない所で生活しています。障害のある方の避難には、障害の特性上の課題、施設運営法人の経営上の課題等大きな課題があることが分かりました。今後の重要課題として対応してまいります。

川越市長 川合善明

こんなこともやっています！
図書館の仕事 その3

中央図書館 Tel 222-0559

Fax 224-7822

返却ポスト(ブックポスト)をこ存じですか？

「図書館に行かなくても資料を返却できないかな」「休館日だから返却できない」と思うことはありませんか？ そんな時に便利なのが、返却ポストです。10月から、古谷市民センターにも設置しています。

返却ポストとは、市立図書館で借りた本・雑誌・紙芝居を返却できる設備です。CD・カセットテープ・レコード・ビデオ・DVDは壊れることがあるので利用できません。

また、返却ポストに入れてから処理されるまで時間がかかります。返却日から一週間ほど余裕を持って返却してください。市立図書館へ返却する本・雑誌・紙芝居がありましたらご利用ください。



古谷市民センターに設置している返却ポスト

■返却ポスト設置場所

●閉館時に利用できる施設

中央図書館・西図書館・川越駅東口図書館・高階図書館

●開館時間中に利用できる施設

霞ヶ関南分室、古谷・南古谷・福原・名細・川鶴・大東市民センター(公民館)、霞ヶ関北・大東南公民館、北部地域ふれあいセンター、メルト